

第34回福岡地域審議会会議録

と き：平成29年6月1日(木)午後3時00分

ところ：福岡庁舎4階 401会議室

出席者

○高岡市

高橋市長、村田副市長、戸田総務部次長・総務課長、柳原都市経営課長、新田人事課
経営管理室長、川尻福岡総合行政センター所長、大窪福岡総合行政センター次長・地
域振興課長、堂田産業建設課長、岩崎市民生活課長、池田福岡まちづくり推進室長、
長澤福岡教育行政センター所長

○委員（50音順）

石王 誠委員、大橋仁美委員、竹島寿美委員、谷口義明委員、中田正敏委員、畑 幸恵
委員、林 隆三委員、宮崎三郎委員、宮崎真紀子委員、村上委千子委員、山崎 博委
員、米田裕子委員

○ 欠席者

神庭あゆみ委員、張田 真委員、山岸俊清委員

1 開 会

午後3時00分

【事務局】

本日は、お忙しいところご出席賜りまして、誠にありがとうございます。

ただいまから、第34回福岡地域審議会を開催いたします。

2 会長挨拶

【事務局】

開催にあたり山崎会長からごあいさつをお願いします。

【会長】

本日は、第34回の福岡地域審議会を開催するにあたりまして、高岡市の高橋市長様、
副市長の村田様、そのほか関係部課長の皆様には、大変お忙しい中ご出席いただきあり
がありがとうございます。昨年私たちは3月1日に第6期の福岡地域審議会の委員として委

囑を受けまして、昨年1年間勉強させていただきました。当局の担当課のみなさんと一緒に、旧高岡市と福岡町が合併した際の10年間の事業の検証ということで1年間取り組んでまいりまして、福岡地域の主要事業の執行状況あるいは計画変更等の状況について検証しまして、11月にはまとめとして9つの部門につきまして担当部局にお伝えしたところでございます。その結果について、平成29年度の事業計画あるいは予算の中にどのように盛り込まれているのか少しお聞かせいただきたいということをお願いしておりましたけれども、後程お話しいただけるのかなと思っております。私たちの任期は平成28年度、29年度の2年間でございます、前半の部分が終わりました、本日は29年度の第1回目の会合でございます。29年度福岡地域におきましては、たくさんの方が計画されておまして、それらはいずれも重要な事業でございます。限られた予算の中でやりくりしておられる担当部局の方のご苦勞を考えた時に、私たちは一円たりともお金を無駄に使ってはいけないという思いでいっぱいあります。幸い昨年1年間は、担当部局の方にいろいろ説明を聞かせていただきましたので、少しは予算配分等について理解できたように思っております。今年は1年それぞれの分野で私たちは民間人としての目で市の行政全般にも気配りをしながら、福岡地域にとって重要な部分につきましては我田引水にならないように気を付けながら、しっかり提言できるように勉強していきたいと思っております。合併10年を過ぎまして、高岡市民、福岡町民の特性についてお互い理解できたように思っておりますけれども、細かい部分につきましてはそうでない部分もあるかと思っております。会議の中でいろいろと発言をさせていただきますけれども、お互い気配りをしながら、ハード面だけでなくソフト面についてもしっかり自分たちの意見を述べていきたいと思っております。委員の皆様には、それぞれ選出された分野、地域を再確認していただきまして、それぞれの分野の問題について発言をしていただきたいと思っておりますし、行政の皆様には今までの経緯にとらわれず、住民本位の立場に立ってご助言いただきたいということをお願いいたしまして、開会のあいさつとさせていただきます。今年1年間よろしく願いいたします。

3 市長あいさつ

【事務局】

ありがとうございました。続きまして高橋市長からごあいさつを申し上げます。

【高橋市長】

第34回の地域審議会を開催するにあたり、一言ごあいさつ申し上げたいと思っております。

山崎審議会会長をはじめ審議委員の皆様方には、日頃から福岡地域のみならず市政全般にわたりまして、ご理解、ご協力、ご助言をいただきましてありがとうございます。今ほど山崎会長からもお話がありましたけれども、合併10周年を迎えて、いろいろと検証を進めていただきました。私どもなりに、合併時のお約束、合併の計画に基づいて、それぞれの事業をこれまで着実に推進してきたとっております。あらかたの事業についてはそれぞれ目途をつけて、今は福岡駅を中心とする中心地に軸足を移した事業が展開されております。駅前にはいくつかの施設も整備されましたし、順次駅前にあった建物が新しく装いを変えようとしております。また大きな事業であります区画整理事業も進行中ではありますけれども、順次進んでいることが目に見えております。大きく複雑な事業でございますが、まだ多少時間は要するかもしれませんが、おかげさまで国道の拡幅にもようやく国の方で着手いただきまして、これから目に見える姿が現れてくるというふうに思っております。

さて、昨年末から今年にかけて、高岡では大変うれしいことがいくつかございます。昨年末には、高岡全体としての大きな文化財であります御車山祭が、ユネスコで世界に誇る文化遺産として登録されました。もともと日本遺産、重要有形・無形文化財として評価をいただいたところでございますが、世界に向けての遺産ということで改めて評価をいただき大変誇らしくうれしく思っております。そういうこともあってでございますでしょうか、5月27日には植樹祭の行事といたしまして、天皇皇后両陛下の行幸啓が行われましたが、最初の立ち寄り地として、新高岡駅にお立ち寄りになりまして市民の大きな歓迎を受け、御車山会館に足をお運びいただきまして、御車山祭にご関心を持っていただいたことは大変うれしく思っております。また福岡では、3月末に福岡を代表する祭りのつくりもんまつりが、ふるさとイベント大賞の内閣総理大臣賞という最高賞を獲得されました。福岡の皆さんが手作りで作り、長い間守ってきたこの祭りが最高賞に輝くということで大変うれしく思っております。高岡としては第1回のイベント大賞で最高賞をとって以来ということで大変誇らしく思っており、高岡のイベント、文化活動の奥の深さを2つの受賞で改めて感じる事ができた訳でございますが、福岡地域の文化の大きな展開というものを大変うれしく思っております。9月のつくりもんまつりの当日には多くの人に訪れていただきますように、また福岡地区のみならず高岡を代表する祭りとして大きく発展をすることを期待しているものです。

新年度に入りまして私どもは市民創造都市を目指し、新たな総合計画をスタートさせております。市民とともに創る共創という考え方をベースに市民がそれぞれ輝き新しい課題に挑戦していき、新しい高岡というまちを創っていくという思いを込めて市民創造

都市と言っておりますけれども、歴史と文化に包まれている、あるいは自然景観に包まれ、そして人と人がつながって創り上げていく高岡というものを市民創造都市という形でまとめてまいりたいと思っております。

また、昨年は富山県西部県域 6 市で富山呉西県域連携中枢都市圏というものを結成いたしました。力を合わせて日本全体の大きな課題となっております地方の創生、地方への定住といった問題を高岡市がリーダーシップをとって提案しながら、6 市が力を合わせて挑戦をしていく地方創生の受け皿としての県域形成に努めてまいりたいと思います。福岡地域にはまだまだたくさんの課題がございます。今日は川島県議もおいででございますけれども、県議さんへの要望の中でも、例えば高岡市が福岡地域という文化と自然の宝庫と一緒になったことによって、山林という資源を高岡市が持つことになったわけでございますけれども、山林をどのように育てていくのが高岡市としても重要な課題であるご指摘をいただいているところでございます。

高岡市が厚みを持ち、幅を広げた 10 年間でございました。これから次のステップに向け、それぞれの持つ地域資源を活用しながら大きく羽ばたいてまいりたいと思います。本日は福岡地域で実施予定の事業等につきましてご説明申し上げますので、ご出席の審議委員の皆様には、忌憚のないご意見を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

4 議事

【事務局】

ありがとうございました。それでは本日市からの出席者のご紹介をさせていただきます。

(市出席者紹介)

議事に入る前に、本日の審議会の欠席の連絡を神庭委員、張田委員、山岸委員からいただいております。本日の会議は 15 人の委員うち 12 名の方々に出席いただいております。地域審議会の設置の規定によりまして、出席委員は過半数を超えていますので本日の会議は成立していることをご報告いたします。

規定によりまして、議長は会長が務めることとなっておりますので、山崎会長よろしく申し上げます。

(1) 報告事項

それでは、規定によりまして議長を務めさせていただきます。審議が円滑に進みますよう委員の皆様のご協力をお願いします。今回の会議は、①報告事項3件、②その他1件となっております。

【山崎議長】

まず、「報告第96号 平成29年度福岡地域主要事業の実施状況について」説明をお願いします。

【大窪地域振興課長】

それでは、「報告第96号 平成29年度福岡地域主要事業の実施状況について」、お手元の資料1に従いまして説明をいたします。お手元の資料1をご覧ください。

(地域振興課長より資料No.1で説明)

【山崎議長】

それでは、説明のありました、ただいまの件について何かご質問はございませんか。

【中田委員】

説明いただきました事業の前半部分の農業、林業の部分を地域の要望を斟酌しながら土地改良区の要望を掲げております。高岡市の方でも基幹部分を計画に加えていただきましてありがとうございます。今後ともよろしく願います。

【山崎議長】

ありがとうございました。他にご意見はありませんか。

【畑委員】

まちの中に空き家、空き地ですとか空き店舗がたくさん出てきております。空き家空き店舗活用事業ということで予算をつけていただいておりますけれども、具体的に何か動きはあるのでしょうか。例えば高岡市内では山町筋など空き店舗に新しい方が入られたりしているのですが、空き店舗対策でプロジェクトチームを立ち上げたりしていらっしゃるのでしょうか。

【池田福岡まちづくり推進室長】

空き家、空き店舗のハード面の対応につきましては、空き家につきましては本庁の建築住宅課、空き店舗につきましては商業雇用課で具体的な支援策をもって実施しております。まちづくり推進室の方で空き家対策ということで活動している内容としましては、まち中の活性化という観点から、空き家、空き店舗を利用したギャラリーといったものを企画しております。過去に空き家の持ち主の方に主旨をお話しして、貸していただけるようお願いをいたしておりますが、恥ずかしくて貸せないなどの理由で難しい面があるというのが実状でございます。

【畑委員】

ありがとうございました。空き家、空き店舗をそのままにしておくというのは大変危険な状態ですけれども、例えば空き店舗を使って新しい事業を立ち上げる方には援助や補助などがあるのでしょうか。空き家、空き店舗が使えないものであれば処分に関する補助等はあるのでしょうか。

【川尻総合行政センター所長】

福岡地域においてはウェルカム福岡が貸し手、借り手の仲介役を担っていただいているところですが、先ほど室長から説明があったとおり、なかなかマッチングがうまくいかないというのが現状でございます。それがうまくいくということであれば、本庁の担当課で持っている政策予算を使うこともできると思いますが、現実にはなかなか難しいということが先ほどの話であったかと思えます。

【山崎議長】

議長席に座っておりますが、ウェルカム福岡の責任者ということで一言発言させていただければ、去年も2件ほど新店舗を開店させました。今年に入りましてまちの中で空き家になった家を使ってもらえないかということで話がありまして、現場を見せていただくと菅笠問屋の家でした。非常に立派な家で無償でもいいから使っていただけないかということでしたが、これに関しても2件ほど問い合わせがありまして、うまくいけば使ってもらえるのではないかと考えております。今年度のウェルカム福岡の事業の1つとして取り上げていきたいなと考えております。店舗改装をする際の補助金がほかの市町村より少し低いのではないかと考えておりますので、もう少し補助

を挙げていただく方法がないかご検討いただければありがたいと思います。本来は、商工会がこういった事業をやっていたのですが、商工会が合併してからは創業支援などに力を入れておりますので、なかなか空き家対策まで手が回らないことでありまして、幸いうちの会社は商工会がまちづくり会社ということで立ち上げた会社でありますのでそういった面では頑張っていきたいなと思います。

ほかにご意見はありませんか。特にないようでしたら次に進めたいと思います。

続きまして、「報告第97号 平成29年度当初予算における福岡地域の主な事業について」説明をお願いします。

【大窪地域振興課長】

資料2をご覧ください。「報告第97号 平成29年度当初予算における福岡地域の主な事業について」説明します。

(地域振興課長より資料No.2で説明)

【山崎議長】

ありがとうございました。ただいま報告のありました件について何かご質問はありませんか。

【宮崎三委員】

私の住んでいるところは中山間地でありまして、最近まで小さな子どもの声が聞こえませんでした。最近4家族で子どもができにぎやかな声が聞こえてきます。小さい子どもさんの通学、通園に親が大変苦勞されていますので支援をよろしく願いします。

【川尻総合行政センター所長】

五位山地域では現在13人のお子さんがいらっしゃると聞いております。かつては公営バスもそこまでは行かなかったのですが、にぎやかな状態になっているということお聞きしまして私たちも大変うれしく思っております。公営バスが五位山地域にも行くように言っておりますので、安全に学校まで行けるように体制を整えているところです。

【宮崎三委員】

朝に小学生と中学生と一緒にバスに乗るのを見ると嬉しくなります。

【山崎議長】

ありがとうございました。他にご意見はありませんか。

【村上委員】

能越自動車道の福岡料金所の廃止が決定したと聞いているのですが、福岡パーキングを利用する方がインターチェンジを作ってほしいだとか乗り降りができるようにしてほしいという要望を聞いているのですが、能越自動車道の福岡パーキングは今後どういう風に利用されていくのかお聞かせください。

【大窪地域振興課長】

福岡パーキングについては、能越自動車道福岡インターと高岡インターの概ね中間に位置し、福岡地域の市街地からも近い位置にあると思っております。インターチェンジ化は大変重要な問題であると認識しております。先般の能越自動車道の利便性向上対策検討会におきましては、福岡料金所を撤去すると基本的な考えが示されました。今後、検討会の最終結論を踏まえて、インターチェンジ化に向けた検討課題を整理するとともに、引き続き関係機関と協議を進めてまいりたいと思っております。

【山崎議長】

ありがとうございました。他にご意見のある方はいませんか。

【畑委員】

つくりもんまつりがイベント大賞を受賞したということで福岡地域にとっては大変うれしいことなのですが、今年は土日につくりもんまつりが開催されます。中田のかかし祭も開催されますし、せっかく高岡の祭りの1つなので、大々的にイベントをされるとかコラボするなどの企画はあるのでしょうか。また例年同じ予算なのですが、もう少し予算を回していただくことはできないでしょうか。

【堂田産業建設課長】

中田のかかし祭とのタイアップ等につきましては、各々のイベントの実行委員会で畑委員の意見も参考に協議いただくようお話をしていきたいと考えております。補助金等につきましては3年間同じような推移をしております。総額では900万円強ありますが各々のイベントの内容を精査し補助金を有効に活用し、協賛等もいただきな

がらイベントを開催しておりますので、皆様とともに汗をかき足を動かしながら各種イベント事業に取り組んでいきたいと考えております。

【畑委員】

高岡市としてもPRなどいろいろなことができると思うので、その時期に新幹線を活用して来ていただくとかPRをしていただきたいと思っておりますのでよろしくお願い致します。

【山崎議長】

ありがとうございました。他にご意見のある方はいませんか。

【宮崎三委員】

五位山地区でクマによる被害が発生しました。1週間ほどは見回りに来ていただきましたが、そのあとはまた静かになってしまいました。クマの目撃情報はあるのですが、消防団員に出動がかかって大変だということを知って通報をしない人がいます。林道を整備するなど対策はないのでしょうか。

【堂田産業建設課長】

宮崎委員からもお話があったように、今春4月に五位山地区でクマによる被害が発生しましたが幸い軽傷でした。当時は市職員、消防団員、警察等で1週間の朝夕のパトロールや注意喚起を行っていたところです。クマの出没する場所が特定できれば重点的にパトロールができるのですが、相手も生き物ですので特定が難しい状況です。そのような中での対策としては、県の自然保護課のご指導をいただきながら、中山間地では高齢者が増え下草刈などの環境整備も難しいとは思いますが、6月下旬にクマ対策の環境整備の説明会が開催されますのでご参加いただければと思います。

【山崎議長】

ありがとうございました。他にご意見はございますか。

【中田委員】

黒石川の改修の関係なのですが、一朝一夕では前に進まない問題ですし、どういう情勢になっているのか地元でもわからないということで、昨年県土木の担当の方にお

越しいただき関係町内の方と勉強会を行いという会合がありました。皆さんの関心は昨今のゲリラ豪雨による被害が報道される中、小矢部川の越流問題、それを受けるいろいろな整備の問題には無関心でいられないということでした。小矢部市管内の岡地内においては整備が進められておりまして川幅も非常に広がっております。下流の福岡地域管内がもう少しスピード感を持って進めていった方がいいのではないかと思います。県土木の方からもいろいろと説明をしていただきましたが、災害があってからでは遅いと考えておりまして関係地域の方の意識の啓発に高岡市も入っていただければありがたいと思っております。将来的に黒石川の改修が進んでいくように手立てを講じていただきたいと思っております。関連して市街地に四十万用水が流れており、昨今の地域の移り変わりにより、本来の用水の目的の水量が必要なくなり、雨水排水や雪の融雪の意味合いが強くなっています。半分程度は整備が済んでおり、駅前再開発地域に流れている水路については、道路側溝の形態で整備していただきましたので、残りの真ん中の水路が維持管理がしにくい状態で大雨が降った際に溢れなければいいと心配しており、関係者だけでは対応しにくい状況ですのでお力添えをよろしくお願い申し上げます。

【山崎議長】

ありがとうございました。今日は川島県議もおこしなので参考までに聞いていただければいいのかなと思います。
他にご意見はございますか。

【石王委員】

菅笠の商品を開発して販売しておられ、先ほどの説明の中でもいろいろな予算が使われている中で、最終的にはどういう将来性をもってどういう形に仕上げ販売をされているのか教えていただければと思います。

【大窪地域振興課長】

行政センターで行っているのは、国の重要無形民俗文化財の指定を受けた菅栽培、制作技術が減少の一途をたどっているということで、これを将来にわたって続けていくということをごちらの方では行っております。ご質問のあった販売についてはまちづくり工房、御車山会館や地場産業センターなどで販売しています。今年商店街の

集客事業の補助金がいただけるため、まち中の活性化ということでまちの中で菅笠を展示して販売できないかということのを計画しております。

【山崎議長】

まちづくり工房では、町の中の菅笠、菅に関するいろいろな商品を作っておられる方が増えてきましたので、その販売等も行ってありますが、如何せん町の中だけで販売してもPRになりませんので、できればインターネットなどを通じて県外へPRしたいと考えております。そういったことに使えるお金があるとすれば少し勉強して、もう少し手広く販売していきたいと思っております。

【宮崎眞委員】

ふるさと納税の返礼品としてお米などは非常に人気があります。福岡地域には営農組合がたくさんあり力を入れております。返礼品としてお米や菅笠の製品、県外からの宿泊される方もいる山ぼうしの宿泊券を県外の方に高岡をPRする意味で返礼品として検討いただきたいと思います。

【柳原都市経営課長】

現在ふるさと納税につきましては目的別に返礼品を用意させていただいております。目的については、「市民によるまちづくり」や「文化財を活かしたまちづくり」など10の目的を設定させていただいており、現在は産業の振興等にぎわいづくりについては特にご好評をいただいているところです。今年度の10月ごろを目途に目的の見直しに当たっており、新たな目的の設定を行っていききたいと思います。目的に伴い返礼品の中身についても見直しをしたいと考えており、ご提案のありました物についても検討させていただきたいと考えております。

【山崎議長】

ありがとうございました。他にご意見はございますか。

【竹島委員】

ひな祭りの時に観光ボランティアでまち中を案内した際に、ひな人形が飾ってある家を興味深そうに見学しておられました。まち中を見て回る際に見るものがあるというのは、とてもいいことだと思います。まちなかギャラリーの予算が30万円ほどあ

りますが、展示をしていただいた方にお礼などはされているのでしょうか。にぎわい交流館の広いスペースに子ども達が書いた絵を飾る展示スペースがあれば用事がなくても見に来られる方もいるでしょうし、芸術家の方の作品があれば人が出入りするのではないかと思います。高校生が何人か勉強しているだけの姿を見ますので、たくさんの方が来てくれる場所になればいいと思います。

【池田福岡まちづくり推進室長】

空き家を活用したまちなかギャラリーとして予算化していますが、今ほどのご提言がありましたように、必ずしも空き家にこだわらずひな祭りなどにも予算の活用を検討していきたいと思います。にぎわい交流館の展示につきましても併せて今後検討していきたいと思います。

【山崎議長】

どうもありがとうございました。他にどなたかご意見はございませんでしょうか。

特になければ「報告第 98 号 福岡駅前土地区画整理事業について」報告をお願いします。

【池田福岡まちづくり推進室長】

資料 3 をご覧ください。「報告第 98 号 福岡駅前土地区画整理事業について」説明します。

(福岡まちづくり推進室長より資料No.3で説明)

【山崎議長】

ありがとうございました。ただいま報告のありました件について何かご質問はありませんか。

【林委員】

資料の説明の中で当初の計画では、事業が平成 30 年度に完了する計画となっておりましたが、平成 32 年度まで施工期間が延長変更されています。当初の計画通り事業が進むのか、延長されると予算額が減額されたりするのではないかと、現に資料によると総事業費の変更で 5 億 1, 900 万円が減額されております。計画通りに進めばよいのですが、予算が減額されると工事の質が落ちるのではないかと心配になります。期間が変更になった理由と予算が減額された理由についてお聞かせください。

国道8号線の無電柱化、駅前の通りの拡幅工事が実施されますが、拡幅された区間を無電柱化すると聞いております。現在の進捗状況についてお聞かせください。

【池田福岡まちづくり推進室長】

期間が2年余り伸びた訳でございますが、当初仮換地指定を平成21年度に行う予定でしたが、区画整理の組み合わせや各々の土地所有者との調整に時間を要したことにより2年ばかり遅れてしまったということがございます。仮換地指定を行わないと、工事や建物の具体的な移転にかかれないう制約があるためスタート時点でおくれてしまいまして、なんとか30年度までにという思いもございましたが、市街地の密集した中でございますので、移転していただくにも玉突きになってしまうという状況もございまして、皆様方には大変ご迷惑をおかけしておりますが、引き続き移転の協力を皆様方をお願いしたと思っております。事業費についてですが、事業期間が伸びたからと言って事業費が減るということはありません。平成19年に県知事の認可を受けた際は、図上で補償の金額などを概算で組み立てておりました。高岡市が所有する旧福岡町役場と旧消防署の補償費をカウントしておりましたが、高岡市所有の建物については解体することにより移転が完了するため補償費が4億円余り補償費で見込んでいたものが減額されています。

無電柱化については国道8号線については、国土交通省で工事をされるということになっております。市道については駅前からポケットパークまでの区間については、無電柱化協議会という検討委員会の中に加わり具体的な工法について検討をしている状況です。

【山崎議長】

どうもありがとうございました。他にどなたかご意見はございませんでしょうか。特になければ「その他 公共施設のマネジメントについて」説明をお願いします。

【新田経営管理室長】

資料4をご覧ください。「公共施設のマネジメントについて」説明します。

(経営管理室長より資料No.4で説明)

【山崎議長】

ありがとうございました。ただいま報告のありました件について何かご質問はありませんか。

【宮崎三委員】

旧福岡町の最終処理場は現在も使用されているのですが、これを見直すということなのでしょうか。恒久的な施設であると認識していたのですが。

【新田経営管理室長】

個々の施設の方向性については、それぞれの施設の目的や役割を踏まえながら、再編計画を策定していく中で考えていきたいと思っております。最終処分場の詰所と車庫が公共施設マネジメントの対象施設として該当しているため、一覧に掲載されています。それについても策定する中で考えていきたいと思っております。

【山崎議長】

どうもありがとうございました。他にどなたかご意見はございませんでしょうか。

【林委員】

昨年11月に福岡地域審議会から意見書を提出させていただきました。その中に公共施設の存続に向けた保全管理ということで掲載させていただきました。福岡地域だけでなく高岡市全体の問題だと思います。住民とすれば、今まで使ってきた施設については、そのままの状態でも維持管理して使っていきたいと考えております。サービス面においても経年劣化したものが壊されると、慣れたところで集会など行っていたものが、統合された場所まで足を運ばなければならないという不便も出てくるため、サービス面で低下しない考え方を前面に出して公共施設のマネジメントを行っていただきたいと思っております。

【川尻総合行政センター所長】

公共施設は施設の累計、施設を設置した目的、規模、サービス内容、利用状況などがそれぞれ異なっているわけです。市民生活の質の向上、地域の活性化などに資すると考えております。これまでは人口の増加や住民ニーズに応じて多くの公共施設を整備して参りました。一方で、今後人口減少がますます進展することが分かっており、公共施設の利用者数は減少していくことが予想されます。少子高齢化が進むことにより市の税収も低迷し、福祉関係の扶助費、公債費が増加することにより市の行財政運営が厳しいという状況が見込まれる中で、公共施設の維持更新のために財源を捻出

することが難しくなると考えられているのが現状です。したがって、市としては公共施設の見直しを行うという話になったわけですが、委員の皆さんがご心配されていることについては、十分に理解をしていると思っております。これから持続的に責任ある行財政運営を進めるためにも、今一度考え直す必要があるということをご理解願います。ご心配になっていることについては、意見書等でも十分承知しておりますので、そのことも含みおきながら、6月に市民の方へのアンケートを実施するというスケジュールとなっております。アンケートが届いた際には、地域の思いを市に届けていただきたいと思います。秋ごろには、パブリックコメントや地区説明会が開催されますので、その折にもご意見をいただければと思っております。

【大橋委員】

公共施設の延べ床面積で15%削減を目標に設定されていますが、これは人口減少などによって設定されたのでしょうか。また、施設の合併や縮小によって維持管理費を減らすことが目的だと思うのですが、昨年1年間の施設の維持管理はどのくらいかかっているのでしょうか。

【新田経営管理室長】

15%の削減目標についてですが、2つの視点で目標を設定しました。1つは平成47年の推計人口と高岡市の可住地面積が同規模の都市と延べ床面積を比較すると、同規模よりも平均57,000㎡多いということで12.36%の削減目標を、もう1つについては、高岡市の平成28年3月の人口と平成47年の推計人口を比較して15%削減という目標を設定しました。

施設の維持管理の金額についてですが、平成27年度ベースで人件費も含めトータル年間105億円かかっております。今後40年間で約6,417億円、年平均で約160億円の維持更新費用が掛かると試算しております。

【山崎議長】

どうもありがとうございました。特になければこれで終わりたいと思います。川島県議もおこしですので、委員として川島県議にお願いしたいと思います。福岡地域の事業の中で水と緑の森づくり事業の中で優良無花粉スギ「立山森の輝き」の植栽を進めるということになっていますが、私の住んでいる西山の杉はすべて60年以上たっている木ばかりなので、これを伐採して無花粉スギを植えれば花粉症も減ると思うの

で、補助金などを使用して無花粉スギの植栽を県下全体で推進していただきたいと思
います。

それでは最後に市長さんの方から一言お願いします。

【高橋市長】

今日はいろいろな方面からお話、ご意見をいただきありがとうございました。いろ
いろといただきましたご意見については、しっかりと取り組んでいきたいと思っ
ております。せっかくの取り組みが日本や世界に発信していけるようにすることが大事か
なと思いました。つくりもんまつりのイベント大賞の受賞も大きなアピールの種で
ございますし、米のお話も出ましたがふるさと納税なども使ってしっかりアピールして
いくことも必要かと思えます。福岡の重要な産品であります菅笠も文化財でもござい
ますけれども、産業面でもテコ入れをしていきたいと考えておりまして、伝統的な工
芸品の指定に向けても取り組んでいるところでございます。先般市内のあるお店で、
菅笠を有名な狂言のご宗家の方がお買い求めになっているところを知り合いが目撃し
ておりまして良い物というのは目の肥えた方にも認めていただけるということでござ
います。私どもも誇りをもってアピールしていきたいと思えます。お祭りにせよ文化
財にせよ、また産業面でも新幹線開業以来大きな動きが出ております。こういったも
のをしっかり活用しながら福岡地区、そして高岡全体が大きく盛り上がっていくよう
に私どもも努力してまいりますので、委員の皆様はじめ福岡地区の皆様にも盛り上げ
ていただきますようお願い申し上げますとさせていただきます。今日は
本当にどうもありがとうございました。

【山崎議長】

それでは、以上を持ちまして第34回福岡地域審議会を終了したいと思います。委
員の皆様には長時間ご審議いただきありがとうございました。